

の融合を理念とし、御南幼児教育センター等先行事例の実践を取り入れるとともに、障害児保育の拠点園とし、さらには一時保育も実施したい。

生活保護世帯への自立支援体制を強化

問 生活保護世帯の自立支援に向け ケースワーカーを法に定める標準数まで増やす考えは 自立支援施策の効果は。

答 平成17年度に査察指導員を三人、ケースワーカーを二人増員したが、今後の生活保護の動向も踏まえ、引き続き増員に努めたい。ハローワークOBを活用した就労支援事業により就労開始に至った件数が、14年度八十五件、15年度八十九件、16年度百十八件と成果が表れている。その結果、16年度の保護費削減効果は、推計約五千六百七十万円に上る。

教育



CAPプログラム

教育課程への導入を

問 子どもが、いじめや虐待、誘拐等の暴力から自分で身を守る能力を身につけるためのCAPプログラムを、本市の教育課程に導入しては。

答 子どもの安全が脅かされる状況の中、意義あるものとして、教員の十年研修の講座で実施しており、また、PTAや学校が主体的に取り組むところもある。本市としては、子どもの危機対応能力を高めるため、平成17年3月に作成し、全学校園に配付した「子どもの安全確保に向けて」を基に、子どもの発

達段階に応じた具体的な取り組みをカリキュラムの中に位置づけ、積極的に推進するよう働きかけている。

東部地区図書館整備

平成17年度に概略設計

問 東部地区図書館（仮称）の整備が始まるが 構想を固めるに当たり、市民の意見を聴取する考えは 今後の予定は。

答 地域住民に親しまれるものとするため、隣接の公園部分との一体的な整備など広く市民の視点に立つて構想を固めた。そのため、平成17年度に行う概略設計を基に、市民の意見を聴取していく考えだ。概略設

計を行った後、埋蔵文化財調査用地買戻し、実施設計、建物建設工事等の順序を進める予定だ。



地域に親しまれる学びの場に
(東部地区図書館建設予定地)

新シルクロード展

入館者十万人を目指して

問 デジタルミュージアムについて 新シルクロード展への集客に向けた取り組み状況は FMサテライト局の活用は。

答 十万人の入館者数を目標に、平成17年10月の開催に向け前売り券のコンビニでの販売や、大口購入

者の開拓に取り組んでいる。今後とも各種団体、企業等への周知・宣伝活動を積極的に行った。五階のカフェに中継可能な回線を敷設しており、FM事業者の提案を受けながら前向きに協議したい。

拠点プール方式導入で

子どもの水泳指導充実

問 本市小中学校の一校一プール制を見直し、拠点プール方式を導入する目的は。

答 新たに改築や新築をする際は、費用対効果等を総合的に検討し、一校一プールにとらわれず、可能な場合は拠点プール方式等を促進したい。今回の拠点プールは、屋内温水プールにすることで使用期間が延び、水泳指導が充実されるとともに、一般利用も視野に入れた施設の有効利用が可能となる。また、教員と指導員との複数指導体制の導入で、子どもの泳力と教員の指導力の向上に効果が上がるものと考えられる。

1 CAPプログラム=

Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止) の略で、子どもが虐待、いじめ等から自分を守ることを教えるプログラム。単に暴力から身を守る方法だけでなく、自分を大切に育て、権利意識を育て、子どもにも子どもを尊重するよう啓発し、安全な社会をつくることを目的としている。



議会議事録



議事を円滑に運営するため、運営全般について協議し、意見調整を図る場として設置されます。ここで決定又は申し合わせた事項に基づき、会派や議員の活動の基準がつけられたり、規制することになるなど、強い調整機能を有しています。

委員会では 会期や議事日程等の決定、意見書等の取り扱い、特殊な請願・陳情の取り扱い、発言時間・緊急質問の取り扱いなどの議会の運営に関する事項 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 議長の諮問に関する事項 について調査を行う。議案、陳情等を審査します。また、公聴会の開催や参事人から意見聴取ができる点や継続審査ができる点などは常任委員会と同様です。

また、常任委員と同様に任期を二年とし、定数は九人で、その構成は各会派の議員数に比例案分しています。なお、本市では平成17年6月から、議会運営委員会についても委員長の許可を得て傍聴が可能となり、これで原則としてすべての傍聴が可能となりました。